

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-109	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
※発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	※教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	※教 科 書 名		
35・清水	歴総 035-901	改訂版 私たちの歴史総合		

1 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、以下の基本方針に基づき編修されました。

① 教育基本法第2条第1号に関して

- ▶日本と世界の近現代に関する知識を身に付け、日本人あるいは地球市民としての教養とするとともに、その知識を生かして現代の社会を主体的に考察し、さまざまな事象と課題の真理を追求してよりよい未来を築くことができるよう、豊富な資料と平易な文章を用いて叙述しました。
- ▶人類共通の経験としての歴史を謙虚に学び多角的に考察する姿勢を重視し、公正な態度や道徳心を養うことができるよう配慮しました。また、生徒たちが主体となって学習活動を行えるよう問いを随所に配置し、情操面・身心における成長の促進にも資するものとなりました。

② 同第2号に関して

- ▶個人の価値が見出され尊重されるようになってきた歴史的経緯を記述することによって、その重要性を知り、自他の価値と能力を互いに認め合う姿勢を身に付けることをめざしました。
- ▶創造や自主・自立の精神を重んじ、それらを育むことができるよう、先人たちが政治・経済・文化活動や技術開発などあらゆる分野で不断の努力を重ねて職分を全うし、よりよい社会・生活と豊かな人間性を追求してきたことを系統的に記述しました。

③ 同第3号に関して

- ▶民主主義や基本的人権、男女の平等などが先人たちの努力によって歴史的に獲得されたものであることを記述し、それらを重んじ発展させていくことの大切さを理解するとともに、その実現のために主体的な取り組みや他者との協力を重視する態度を養うことをめざしました。
- ▶社会の発展や公共の福祉に尽くしてきた先人の歩みを記述し、社会に主体的に参画することの必要性を理解できるように配慮しました。

④ 同第4号に関して

- ▶ 歴史の中では時に多くの人命が危機にさらされるできごとがあったこと、また人々がそれを克服してきたことをも記述し、生命の重大な価値に気付かせ、それを尊ぶ姿勢と心を培うことができるように配慮しました。
- ▶ 歴史を通じて人々が多様な自然環境の中でそれを利用・開発しながら生活を営んできたことを記述し、これを通して自然とのかかわり方を考え、共生をはかる態度を育成することをめざしました。

⑤ 同第5号に関して

- ▶ 日本や世界の諸地域が、互いに関連しながら特色ある伝統と文化を形成し発展させてきたことについて、写真や地図などを多用しながら記述し、さまざまな歴史的遺産と伝統・文化の価値を見出し、それらとそれらを生み出した地域や人々に敬愛の念をもち、尊重する態度を養うことをめざしました。
- ▶ 日本を含む世界の歴史上の人々が自己の郷土や国家の発展に尽力してきたことを記述し、自他の国や文化・宗教などを互いに尊重し国際理解・異文化理解に努める態度を養うとともに、国際社会の諸課題と恒久平和のために能動的に取り組む姿勢を培うことができるよう配慮しました。

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 歴史の扉	高等学校の歴史学習の導入として、身近な事象を題材に歴史的視点や基本的技能を身につけることができるよう意を用いました（第1号）。	第1編全て
	世界におけるスポーツの歴史や日本の伝統的なスポーツとその広がりを取り上げ、自他の文化や郷土に親しみをもつことができるよう配慮しました（第5号）。	4～5 ページ
	歴史資料を用いて考察し、自らの考えを構築するとともに、他者の意見や考えを尊重し、協力して課題の解決に向かうことができるよう配慮しました（第2号・第3号）。	6～7 ページ
第2編 近代化と私たち	日本と世界の近代化の歴史について、そこに現れたさまざまな社会的課題や成果を丁寧に記述し、資料や問いを通じて生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました（第1号）。	第2編全て
	官民を問わずさまざまな人が将来を見据えながら自主的・自律的に改革や運動、学問、勤労に邁進して新時代を築いた様子を、具体的な人物や事例を挙げながら記述しました（第2号）。	8～11, 20～21, 26, 28～35, 40～41 ページ

	民主主義や基本的人権など自由と平等を尊重する動きが広まったことを記述し、政治・経済や教育・文化などあらゆる面において改革が行われた経緯と今日に至る近代社会の歴史的意義を捉え、公共の福祉と主体的な社会参画のあり方について考察することができるよう配慮しました（第3号）。	20～21, 28～35, 40～41 ページ
	産業の発達や世界の一体化にともない開発が進められたこと、一方でそれが環境の悪化をもたらすことなどに触れ、自然とのかかわり方や環境保全について理解と考察を深められるよう留意しました（第4号）。	14～17, 20～21 ページ
	新たな航路の開拓や世界商業の進展により世界の一体化が促進された一方、列強により世界分割が行われ、各地の伝統的な産業や文化が変容を迫られていったことを記し、平等かつ平和的な国際関係の構築と相互の価値観や伝統を尊重することの重要性に気付かせることに意を用いました（第5号）。	第2編全て
第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	二つの大戦期と戦後における国際秩序の変化や大衆化の歴史について、そこに現れたさまざまな社会的課題や成果を丁寧に記述し、資料や問いを通じて生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました（第1号）。	第3編全て
	この時代に現代の私たちの生活様式の基礎が形成されたことや、戦争・対立、世界経済の動向がもたらす生活や労働への影響を記述し、生徒が自らの生活のあり方や、それにかかわる現代的な社会問題を客観的に捉え直す契機となるよう配慮しました（第2号）。	第3編全て
	民主主義や人々の権利・平等などが、戦争や植民地支配・差別などによって著しく制限された様子を記すとともに、差別の解消や権利の獲得に積極的に取り組んだ人々やその運動について記述しました（第3号）。	53, 56～67, 74～75, 78～79, 82～85, 88～89 ページ
	戦争や対立により多大な人命が人為によって失われ、国土の荒廃や環境破壊にもつながる兵器が使用されたことなどを記述し、生命と自然を尊重する心を育成できるよう意を用いました（第4号）。	54～55, 78～79, 82～83 ページ
	二つの大戦が起こった経緯を考察することにより、対話の重要性に気付かせ、平和的な国際社会の構築と発展を希求し、それに寄与する姿勢を育むことができるよう配慮しました（第5号）。	第3編全て
第4編 グローバル化と私たち	冷戦期におけるグローバル化の歴史について、そこに現れたさまざまな社会的課題や成果を丁寧に記述し、資料や問いを通じて生徒のより深い理解と多角的な考察を促すことに意を用いました（第1号）。	第4編全て

	世界各地で民主化がはかれるとともに、経済成長などを通じて労働や生活状態に変化と向上が見られたこと、また、新たな問題も生まれてきたことを記述しました（第2号）。	第4編全て
	植民地の独立や民主化、差別解消などの実現に向けて、様々な運動や改革が行われてきたことを記述し、それらの維持とさらなる発展のために、他者と協力して工夫を重ねることの必要性和その課題について考察できるようにしました。	101～105, 114～115, 122～125, 132～133 ページ
	産業の発展や戦争、核開発などにより自然環境や人々の健康を脅かすできごとがあり、克服の試みがなされてきたこと、一方で未解決の問題があることも記述しました（第4号）。	102, 106～108, 114～117 ページ
	これからの国際社会における課題や、これからの日本が国際社会において果たすべき役割を生徒が主体的に考察し、国際社会の平和と発展に主体的に関わっていく自覚と責任をもつ契機となるよう、配慮しました（第5号）。	124～137 ページ

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ▶ **判型を A4 判として資料を豊富に、かつ大きく掲載**し、資料を用いた探究活動を円滑に進められるよう工夫しました。
- ▶ 高校生の発達段階を考慮し、**平易で簡明な文章**を心がけました。また、学習の取り組みやすさに配慮し、本文では**人名を青色の文字**としました。
- ▶ **ユニバーサルデザインに配慮**し、できる限り多くの生徒にとって読み取りやすい教科書となるよう意を用いました。ユニバーサルデザイン・フォント、カラーユニバーサルデザインに考慮した配色を、全編を通じて取り入れました。
- ▶ 各単元には**扱っている地域を示すツメ**や、**年代・世紀を示すスケール**を配置し、どの地域・時代を学んでいるのかをわかりやすく示しました。
- ▶ **巻末に補足資料や用語解説**、**日本の歴代内閣総理大臣一覧**、**年表**などを付し、学習の助けとしました。
- ▶ **人物にはさくいんにおいて生没年または在位年を付記**し、学習の助けとしました。

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

1 編修上特に意を用いた点や特色

▶写真や文字史料、地図、年表、統計などの**多様な資料を豊富に掲載**するとともに、それらを活用して思考・判断・表現することを促す**問いを設定**し、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしました。

▶歴史的な見方・考え方を働かせ、**歴史事象を多面的に考察**できるよう、資料を精選しました。

17 ■

▶大きな紙面で写真や図を読み取りやすくし、生徒自身が資料から新たな発見をしたり、新たな問いを立てたりすることができるようにしました。

▼p.50～51

第3編 国際秩序の変化 や大衆化と私たち

ウォーミングアップ 生活や社会の変化を読み取ってみよう

●世界一の商店街誕生！～アメリカ、ニューヨークの五番街～
五番街は、ニューヨーク、マンハッタン島の中心をほぼ南北に走る大通り。19世紀末から高級ブランドの店やデパート、高級層の住宅が並び、1920年代からは超高層ビルも次々に建設された。人々を惹き寄せ、都市生活を充実させる、世界有数のショッピング街である。

▲1933年の五番街

500五番街ビル
(60階建て 212m)

五番10号のビル
エンパイアースタートビル 1931年完成
500五番街ビル 1931年完成
ロッジニューエリナービル 1939年完成

■1937(昭和12)年ごろの日本のデパートの食卓

食事や買い物を楽しんでいるのはどんな人？

新製品によって、くらしはどう変わった？

■1936年(昭和11)年、アメリカ

■フランスの航空会社の広告(1956年)

■アメリカ合衆国の自動車登録台数

年	登録台数(万台)
1905	0.1
1910	0.5
1915	1.0
1920	2.0
1925	4.0
1930	8.0
1935	12.0
1940	18.0
1945	25.0
1950	30.0
1955	35.0
1960	40.0

▲フーードは1913年に2ドル、39セントだった。戦後の材料高騰やインフレで、これより大幅に値上がりした。戦後のインフレで、材料高騰やインフレで、これより大幅に値上がりした。

1. 資料から生活様式の変化について考えてみよう
●戦後半葉に人々の生活や社会に与えた影響
●20世紀半葉の都市や人々の様子
●人々が求めたこと、もの

2. 疑問に思ったことをもとに、学んでいきたいことをあげてみよう

②「今」を考えるための歴史的思考力を培う

▶身近な事象や現代的な課題にもとづいて歴史を考察することにより、生徒の興味・関心を高め、**歴史を学ぶ意義を実感**できるよう、問いや資料に工夫をこらしました。

3 国際協調体制

第一次世界大戦の多大な犠牲は、国家間の対立を解決するために戦争を選ぶリスクの大きさを世界に知らしめた。

第一次世界大戦後の世界では、戦争にたよらずに国家間の対立を解消するために、どのような仕組みを樹立したのだろうか？

資料6 隣組の設置と普及

●ラジオを通して、流行歌として全国に普及した。

●1940年、全国の都市には町内会、地方には部落会が整備され、その下に10軒単位の隣組が置かれた。この隣組で配給や防空訓練、相互監視がおこなわれ、国民を動員する単位となった。

空襲に備えておこなわれたバケツリレー(1944年、長野県)

資料7 雑誌『少年倶楽部』の連載漫画

▲『のらくろ』 隣組のない野良犬(のらくろ)が延大連隊に入隊し、失敗と成功を重ねて出世していく物語。『少年倶楽部』に連載されて人気を集めると、単行本化され、キャラクターグッズもつくられた。以来、日本の漫画文化は時代のニーズを反映しながら子どもたちの心をつかんできた。 (『のらくろ』連載開始) 1936年

◀p.85

？ 探究しよう 国民と戦争

Q3 現在に残る町内会や回覧板は、どのような必要性から生まれ、なぜ今も残っているのだろうか？

資料6

Q4 資料7の漫画が子どもたちの人気を集めたのはなぜだろう？ また、現代の人気漫画と時代のかかわりについても考えてみよう。

- ▶コラムページでは現代や高校生にもつながる話題を取り上げ、「今」を歴史的視点から捉え直すとともに、**自分も歴史的存在であると気づく**ことができるようにしました。

（もっと）知りたい
関連する単元▶ 2編④⑤⑥

産業革命とブラスバンド

18世紀までの金管楽器

音楽系部活動の花形、吹奏楽部はブラスバンドとよばれることもあります。ただし、吹奏楽は管楽器と打楽器、ブラスバンドは金管楽器と打楽器で編成されるため、両者は異なります。管楽器は有史以来、木や金属などを材料とし、戦争や儀式などで使われてきました。金管楽器はマウスピースを口にあてて演奏します。



炭鉱労働者たちのバンド(1907年、イギリス)

◀p.27

歴史のなかの16歳
関連する単元▶ 3編④⑤

満州に渡った若者たち

満州への農業移民と青少年義勇軍

満州への農業移民は、1936(昭和11)年、国策として本格的に始まりました。これは、満州国の日本人人口を増加させること、対ソ戦に備えた人口資源を確保すること、内地の農業人口を減少させることがねらいでした。20年後の満州国の人口を5000万と予想し、その1割に

▼p.81



満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスター

「鉄の戦士」

1941年、最初の義勇軍訓練生は3年間の現地訓練を終え、青年義勇隊としての生活を始めました。入植地は、

▼p.105

③ 歴史学習を生徒のこれからに生かす

- ▶公民としての資質を養うため、細かな知識を羅列するのではなく、小・中学校での既習事項や日常生活に根ざした**知識を活用しながら思考を深める**ことに重点をおきました。
- ▶グローバルな世界を生きる生徒に向けて、従来の日本史・世界史の別なく広く近現代史を捉え、現代世界を構成する**歴史や文化について自分事として理解を深める**ことができるように配慮しました。**日本のできごとをも世界的な観点から理解**できるよう工夫しました。
- ▶時間的・空間的に広い視野を身につけながら、主体的・自律的に社会に参画し、**身の回りにある課題や社会的な課題を見出し解決に向かう力を育む**ことをめざしました。

▼p.24

6 日本の開国とその影響

イギリスの新聞には、アメリカの日本遠征の記事がたびたび掲載され、日本に向けて出港したペリー艦隊の動向も報じられていた。資料1

Q なぜ、世界は日本の開国に注目していたのだろうか？



資料 7 学生運動と女性とファッション

↑1970年、国際反戦デーのデモに参加する女性たち(東京、銀座)。服従やヘルメットなどはユニセックスである。

? 探究しよう 新たな社会運動

Q4 これらの運動や集会に参加している人々はどういう人々で、どのような服装や髪型をしているだろうか？

資料 7 8

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 歴史の扉	A 歴史の扉	4～7ページ	6
歴史と私たち	(1) 歴史と私たち ア・イ	4～5ページ	3
歴史の特質と資料	(2) 歴史の特質と資料 ア・イ	6～7ページ	3
第2編 近代化と私たち	B 近代化と私たち	8～49ページ	20
ウォーミングアップ	(1) 近代化への問い ア・イ	8～11ページ	3
第1章 18世紀までの世界	(2) 結び付く世界と日本の開国 ア(ア)・イ(ア)	12～19ページ	3
第2章 工業化と世界市場の形成	ア(イ)・イ(イ)	20～27ページ	3
第3章 国民国家と立憲体制	(3) 国民国家と明治維新 ア(ア)・イ(ア)	28～37ページ	4
第4章 帝国主義とアジア、アフリカの変容	ア(イ)・イ(イ)	38～47ページ	4
近代化と現代的な諸課題	(4) 近代化と現代的な諸課題 ア・イ	48～49ページ	3
第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	50～95ページ	22
ウォーミングアップ	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い ア・イ	50～53ページ	3
第1章 第一次世界大戦と国際社会	(2) 第一次世界大戦と大衆社会 ア(ア)・イ(ア)	54～63ページ	4
第2章 1920年代の世界と大衆の時代の到来	ア(イ)・イ(イ)	64～71ページ	3
第3章 国際協調の挫折と2度目の世界大戦	(3) 経済危機と第二次世界大戦 ア(ア)・イ(ア)	72～81ページ	4
第4章 世界大戦がもたらしたもの	ア(イ)・イ(イ)	82～93ページ	5
国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ア・イ	94～95ページ	3
第4編 グローバル化と私たち	D グローバル化と私たち	96～137ページ	22
ウォーミングアップ	(1) グローバル化への問い ア・イ	96～99ページ	3
第1章 冷戦と国際政治	(2) 冷戦と世界経済 ア(ア)・イ(ア)	100～109ページ	4
第2章 世界経済の拡大と日本	(2) 冷戦と世界経済 ア(イ)・イ(イ) (3) 世界秩序の変容と日本 ア(ア)・イ(ア)	110～121ページ	5
第3章 冷戦終結とその後の世界	(3) 世界秩序の変容と日本 ア・イ	122～135ページ	6
現代的な諸課題の形成と展望	(4) 現代的な諸課題の形成と展望 ア・イ	136～137ページ	4
計			70